

# 広報 うねり

第 40 号

発行所 黒崎町役場  
印刷所 共立印刷機

### 〈町の動き〉

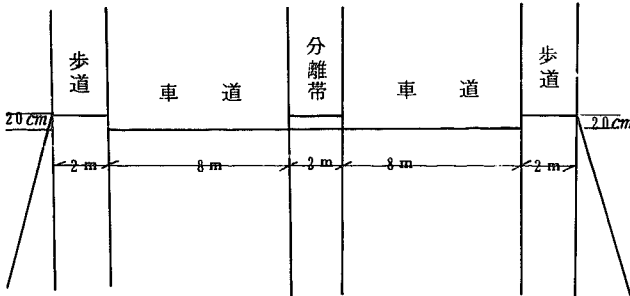
5月末現在(前月比)	
人口	17,819 +50
男	8,739 +21
女	9,080 +29
世帯数	4,158 +17
4月1日から末日までの	
死亡	11
出生	34
結婚	43

## 国道8号線の4車線本格化

### 建設省が説明に来庁



大巾に広がる交差点附近  
(拡巾道路断面図)



国道8号線拡巾工事が  
いよいよ本格化してきた。

去る、五月三十一日建設省の係官が来庁し、地権者及関係者、約八十人が参集し公民館講堂において説明会が開催され、インターチェンジに接続する地点から、大野大橋までの約三、五kmが現在の二車線から四車線道路に拡巾されることになり、昨年はずでにインテリから善久部落までの用地買収は終了し、今年度は住宅の多い大野地区の地権者が参集し係官からの説明を受けた。それによると道路幅二二メートルと両側に二メートルの歩道を設け、車道は片側八メートル、中央に二メートルの分離帯を設置する。また大野地内は主に西側地域が拡巾買収される予定であるが、信濃川大橋詰、新田町三叉路、スウ町交差点等が車両の右、左折をスムーズに行えるよう分離帯を切断し用地を広く確保する予定という説明であった。しかしこの拡巾には大きな問題が山積している。それは現在大きな社会問題としてクローズアップされている、土地の価格の高騰である。Aさんはある日次のように語っておられた。

「私の家は図面上全部かかってしまいます。今まであちこち土地だけでもあたってみましたが通勤、通学に便利な所はおそらく買収金額で土地を買うのが精一杯でしょう、家を建てるには金を借りなければなりません。どうして私共だけ苦しまなければならぬのでしょうか。代替地をなんとかならないものでしょうか」切実に訴えておられた。

当日もこれに類似した要望があり、協力は借しませんが、しかしそれ相当の代償をしてもらわなければ協力出来ない状態に迫まられているのが現状であるので何とかしてほしい。営業の妨げ、その他の事について口頭では明確にならないので文書で覚書等を頂きたい等意見百出、これに対し建設省側では、現状の機能を損うことのないよう事業を進めたい方針であり皆さんが行を得られれば、早急に現地調査の了解を行い、調査終了後諸点について話し合いの上決定していきたいという姿勢を示した。

### 電話工事は 秋頃まで

街のあちこちに「工事中」の赤い旗が立ち、マンホールの中には電話線をつないでいる風景が見受けられる。

電報電話局の局内設備は三月二十八日に市外局番を「〇二五三七」にかえて、電話の加入申込みにしても架設できないことのようにしたが、申し込まれた場所から電報電話局までの電話線が不足しているため、「工事中」の赤い旗を立てて、工事をしています。全部の工事が終わるのは秋頃になる予定です。

新しく線をふやす工事と同時に、現在の加入線を新しい地下ケーブルに替える工事も併行して作業をしているので、ときにご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、今後加入される方のためにご協力をお願いしたいと、大野町電報電話局では言っている。